

●生活・法律相談は

◆市議会議員
いぬい紳一郎 090-8086-3281

◆市議会議員
徳増きよ子 (7148) 6871

◆市議会議員
小田桐たかし 090-8567-8858

◆市議会議員
植田 和子 (7154) 0288

日本共産党中央委員会 <http://www.jcp.or.jp/>
 日本共産党流山市議団 <http://www.nagareyama-jcp.jp/>

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2014年11月号

第182号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail : kfbkd645@ybb.ne.jp

くらしも平和も守る政治を

日本共産党

消費税10%増税、集団的自衛権行使容認

許さない市民の運動を！

消費税の税率が8%に引き上げられて半年。各地で「もうやっていけない」と悲鳴があがっていますが、みなさんのくらしはいかがでしょうか。

消費税増税と物価上昇に賃上げが追いつかず、GDPが下落…。日本経済は深刻な増税不況に陥っています。

ところが安倍政権は、来年10月の消費税10%増税へと破たんしたアベノミクス路線を突き進もうとしています。国民の所得が減りつづけているときに増税をしたら、景気は

さらに悪化し、税収も減ってしまいます。日本経済にとって「自殺行為」となる消費税再増税はキツパリやめるべきです。

集団的自衛権行使容認の閣議決定をし、海外で戦争する国づくりを突き進む安倍政権。軍需メーカーを引き連れて外遊。武器輸出を推進する一方、被爆者からの懸念は「見解の相違」と切り捨てました。

日本共産党は、みなさんと力をあわせ、政治を良くするために全力をつくします。



秋晴れの10月19日、東葛健康まつりでたくさんの市民と交流しました

H25年度算決

市民の願いにこたえる市政を！

「景気を良くして」「子育て・介護の負担を減らして」

H25年度は、日本全体でアベノミクス効果が騒がれましたが、流山市では、市民の所得も、事業者の売上げも落ち込んでいます。厳しい実態を直視し、応援する市政運営が求められました。井崎市政の目線は別の方向に…。

規模や内容を熟慮せず、小中併

設校建設・市民体育館建替への2事業だけで200億円を投入。自治基本条例で約束した住民投票も実施せず、市債発行ルールも『凍結』です。一方、健診の心電図検査対象者を削減し、障がい者の福祉手当削減案を計画。保育料は東葛地域で一番高く、減額免除要綱

も「読んだことがない」と、市長は開き直りました。日本共産党は、給食費の負担軽減やリフォーム助成の創設、防災力の強化等を提案するとともに、場当たり政治がゆきづまり、権力の暴走ともいえる井崎市政の転換を求めました。

消費税10%増税に賛成した 自民・公明

政府に対して「消費税10%増税の中止」と「集団的自衛権行使容認の閣議決定は撤回」を求める意見書を日本共

産党が提出。どちらも、国民多数の願いに沿ったものです。ところが、自民保守系、公明、市民クラブ（一部）が反対し否決に…。流山市議会でも、くらしと平和を守る政治の対決点が一ハッキリ表れました。



流山市が、住民基本台帳から18歳と22歳の市民(2763人)を抽出し、個人情報報を自衛隊に提供していただくことが発覚。昨年末では、住民基本台帳の閲覧で対応していました。自衛隊の求めにおうじて『特別扱い』に変えたのです。

自衛隊員募集のための名簿提出「慎重に対応する」と市長答弁

日本共産党は9月議会で「法律は情報提供を義務づけていない。自治体は拒否できる。平和都市宣言の立場から今後は中止を」と迫りました。市長は「局面は理解している。さらに慎重に判断する」と答弁しました。



積極提案で市政動かす

日本共産党の4議席



市議会議員

いぬい 紳一郎



市議会議員

小田 桐たかし



市議会議員

徳増 きよ子



市議会議員

植田 和子



広がる貧困、虐待、子どもを巻き込む事件：国民の多くが胸を痛めています。
通学路の安全対策や非婚家庭への『みなし控除』導入、保育

議会の役割が重要に

福島県の調査結果から、我が子の甲状腺を心配する声も。9月議会では、助成に否定的だった市長も「議会総意の提案ならば重く受け止める」と答弁しました。

くらし

いまこそ、子どもを守る政治を 甲状腺エコー検査への二部助成を

料や給食費の負担軽減など子どもを守る政治実現に、いまこそ力を合わせましょう。

見直しに対する意見徴収では、72名の市民が意見を寄せ、97%が反対しています。「今のままその家族への慰労と生活支援を目的に支給されている福祉手当は、全国的にも評価が高い制度です。ところが流山市は、この制度の見直しと称して廃止・縮小する条例を12月議会に提出しようとしています。」

当局は、障害者施策を充実する財源が必要だと言いますが、それなら障害者の予算を増やすべきです。障害者のための手当を削って障害者施策充実とはとんでもないことです。

福祉

パブリックコメントでは反対が圧倒的多数 福祉手当の廃止・縮小は中止を

H25年度決算が審議された9月議会。日本共産党は、開発とハコモノ建設に熱中する一方で、弱い者いじめの福祉手当縮小をすすめる井崎市政と対決。同時に、市内の資源をいかした地域経済の活性化などを積極提案しました。

が反対しています。「今のまま続けてほしい」という多数意見を無視した強行は、絶対に許せません。

住宅リフォーム助成、農業振興 地域経済を応援する市政へ

赤字経営に陥る事業者が4年連続で増加している市内経済。一方、県内9割の市町村が課税していない法人市民税『超過課税』を零細事業者にも求める井崎市政に対し、日本共産党は地域経済を応援する政策を提案しています。

《日本共産党は提案しました》

- 『リフォーム助成』は、市長も「空き家の住み替え促進に役立つ」と回答。
- 学校給食への地産地消の拡大と経費補てん策に他党も注目。共同が広がっています。
- その他、商店街街路灯の全額公費負担、公園遊具の塗装や小破修繕などの前倒し実施。



防災

地震・台風・水害… 市民の安全まもる防災力の向上を

日本共産党は他党と共同し、小学校窓ガラス飛散防止を実現し、ペット同伴で避難できる避難所設置を求めています。さらに、個人宅用防災ラジオや全避難所への下水道直流型トイレ設置を提案しています。

「災害時、72時間は避難所に市職員が駆けつけられない」と消極的な市長に、大震災後の被災自治体の取り組みを提起し、改善を求めています。

東部浄水場廃止見直しへ

災害時に命の水となる東部浄水場の廃止計画に反対して



江戸小トイレ改善すすむ

植田 和子



東部近隣公園 手すり設置

徳増 きよ子



側溝フタかけの前倒しを

小田 桐たかし



区画道路に停止線を 設置(三輪野山)

いぬい 紳一郎

身近な要求実現